



各位

会 社 名 モ ビ ル ス 株 式 会 社 代 表 者 名 代表取締役社長 石井 智宏 (コード番号:4370 東証グロース) 問い合わせ先 取 締 役 C F 0 加藤 建嗣 TEL. 03-6417-9523

(訂正・数値データ訂正)「減損損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」 の一部訂正について

当社は、2024年10月8日15時00分に発表した開示資料について一部訂正すべき事項がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

(訂正前)

2. 当期の業績予想数値の修正(2023年9月1日~2024年8月31日)

単位:百万円

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|----------------------------|--------|------|------|-------|-----------------|
| 前回発表予想(A) | 1, 526 | △389 | △398 | △394 | △67. 53 |
| 今回修正予想(B) | 1, 534 | △352 | △361 | △731 | △125. 18 |
| 増 減 額 (B-A) | 8 | 36 | 36 | △343 | |
| 増 減 率 (%) | 0.5 | _ | _ | _ | |
| (参考) 前期実績 (2023 年 8 月期) | 1, 594 | △156 | △152 | △182 | △31.17 |

3. 修正の理由

売上高について、プロフェッショナルサービスにおいて見込みを上回る案件受注となったこと受けて、売上 見通しを引き上げ、前回発表予想と比べ8百万円増加し、1,534百万円となる見通しです。

営業損失および経常損失について、生成 AI 機能の開発および販売に関する体制整備等の必要な投資を行った上で、外部システムの利用コストの削減やバックオフィス部門における人材投資の抑制など適切なコストコントロールを行ったことで、前回発表予想と比べそれぞれ 36 百万円増加し、営業損失は△352 百万円、経常損失は△361 百万円となる見通しです。

当期純損失について、上記1の通り減損損失を特別損失に計上する見込みのため、前回発表予想と比べ343百万円減少し、 $\triangle731$ 百万円となる見通しです。

(訂正後)

2. 当期の業績予想数値の修正(2023年9月1日~2024年8月31日)

単位:百万円

| | | | | | 1 2 1 1 7 1 1 |
|----------------------------|--------|------|------|-------|------------------------|
| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株 当 た り 当 期 純 利 益 |
| 前回発表予想(A) | 1, 526 | △389 | △398 | △394 | △67. 53 |
| 今回修正予想 (B) | 1,534 | △352 | △361 | △731 | △125. 18 |
| 増 減 額(B-A) | 8 | 36 | 36 | △337 | |
| 増減率(%) | 0.5 | _ | _ | - | |
| (参考) 前期実績 (2023 年 8 月期) | 1, 594 | △156 | △152 | △182 | △31. 17 |

3. 修正の理由

売上高について、プロフェッショナルサービスにおいて見込みを上回る案件受注となったこと受けて、売上 見通しを引き上げ、前回発表予想と比べ8百万円増加し、1,534百万円となる見通しです。

営業損失および経常損失について、生成 AI 機能の開発および販売に関する体制整備等の必要な投資を行った上で、外部システムの利用コストの削減やバックオフィス部門における人材投資の抑制など適切なコストコントロールを行ったことで、前回発表予想と比べそれぞれ 36 百万円増加し、営業損失は△352 百万円、経常損失は△361 百万円となる見通しです。

当期純損失について、上記 1 の通り減損損失を特別損失に計上する見込みのため、前回発表予想と比べ $\underline{337}$ 百万円減少し、 $\triangle 731$ 百万円となる見通しです。

以上